

---

# 杏仁豆腐

篠義

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

杏仁豆腐

### 【Nコード】

N9161P

### 【作者名】

篠義

### 【あらすじ】

一部実話

関西夫夫

関西弁で、字書きはできるのか？ で、はじまった、このお話。

ぶらりと休日に買い物に出かけた。年末だからというわけでもないし、クリスマスだから、というわけでもない。知り合いに送る荷物があつて、それのおまけに入れておくお菓子を用意したかったからだ。

「あのおっさんやつたら、酒やる？」

荷物は、嫁がオークションで手に入れたDVD五巻で、それを、中部地方に転勤している知り合いに送る。そのおっさんは、俺の嫁の保護者みたいなもので、俺と嫁が纏まる時に試練まで与えた迷惑なおっさんだ。

「酒？ 割れるがな。酒のアテでええねん。そのほうがええ。」

で、まあ、それだけを送るのも素っ気無いから、おまけを入れるらしい。

「ほな、俺も、日ごろのご愛顧に感謝して送つたるやないか。」

もちろん、その性格の悪いおっさんに送るなら甘つたるい菓子だ。辛党には辛いものがよいのだ。

「……あんな、花月……」

俺が放り込んだものを見て、俺の嫁は苦笑する。あまりにもなお菓子だったからだろうと思つたら、違つていた。

「あのおっさんな、甘いもんもいけるからな。」

「え？」

「俺は甘いもんがあかんから、おっさんは俺の前で食べへんだけや。」

それでも送るのか？ と、笑われたが、まあ、よかろうと俺も頷いた。なんだかんだとおっさんは邪魔をするが、それは、概ね、俺の嫁に対する気遣いでもあるからだ。たまには、旦那らしいことをしても罰は当たらない。

買い物済ませると、小腹が空いたからと、飲茶の店に入った。そこで、嫁がメニューを見て、「ん？」 と、目を開いた。

「なあ、これ、食おう。」

そこに書かれていたのは、『地上最強の杏仁豆腐』という文字。甘い物が苦手な俺の嫁だが、こういうものは食べる。プリンとかゼリーとか、それでも甘すぎたら、俺に押し付ける。

「ほおう、話のタネにはなるな。」

注文したものは、すぐにやってきた。シロップも果物もないただの白い塊だ。はあ？ と、俺の嫁は、一口スプーンですくった。

「ん？」

「なんよ？ その反応は。」

「えーっと……牛乳かんに、杏仁の粉？」

その言葉に、俺も一口。

……あー、これは、もみないのー……

牛乳の寒天に、杏仁の粉を少し混ぜたもので、おいしいというほどではなかった。これなら、俺が作るほうがうまいし、コンビニのやつのほうがええくらいやと思われる。

「もしかしてな。これ、地上最強にま……」

「待て、水都。みなまでに言うな。わかったから。」

「帰ったら作ってくれ。おまえのんほうがうまいわ。」

食べ残すことはせずに、もぐもぐと口に放り込み、うちの嫁は、ジャスミン茶を啜った。そりゃそうやろう。おまえの好みに調整してあるんやから、俺が作るものほうがうまいに決まっている。

「作ったるで、これぐらい。ああ、ほんなら、寒天買わなないな。それに、杏仁の粉もな。」

「ほんなら、晩ごはんは中華にしようか？俺、エビチリするわ。」

ふたりで、晩ごはんの献立を組み立てて、店を後にした。俺の嫁のエビチリは、辛いものが、あまり得意ではない俺でもうまい辛さのものだ。たぶん、どっちもが相手の好みを知っているから作れる。そう考えたら、俺らにとって地上最強と名付くものは、ふたりが作るものであるというらしい。

•

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9161p/>

---

杏仁豆腐

2011年1月13日02時24分発行